夕刊
磐城新聞
十月三日發行
定價 一ヶ月金六拾五錢（郵稅[illegible]）
廣告料金 普通 [illegible]
發行所 磐城新聞合資會社
福島縣石城郡平町田町十六番地
編輯兼發行人 柏木[illegible]
振替口座（ベイライワキ）
平局私書函第十二號
電話五六四番
（日曜祭日翌日休刊）

農民文藝としての童謡詩（四）

市川健次

三、農民文學としての童謡詩の永續性

主義に於て農民文學である童謡詩は『童心』に據つて認識把握された自然詩觀をしかして農民の生命或は生活感情を最も單的に表現するところの文藝樣式である かかる場合『童心』及びその對象たる農民の生活感情の內生命『土の精神』の永遠性は直ちに童謡詩そのものの永遠性の証左でもあり得るであらう。

『童心』の定義は、ここで饒舌に上すべくは餘りに無意義にまで坊間に言及されてゐる。しかるに眞に深く『童心』の包含する範疇するを検討すべくは、又到底かゝる小論の一部分で論じらるべき性質のものではない しかし、單的に之れを言ふならばそれは我々の耳目に觸るる外的現象を最も純粹なる心情に據つて感得する直感的感情ではあるまいか また感受する內的生命（人格）を指すものではあるまいか。この意義からして私は單に『子供らしさ』の未成人の意に用ひらるることを排撃する。

そして、むしろ大成人にして成就する自然觀の東洋的成果とするわが島田忠夫等の提言に從ふものである 良寛、一茶はもちろん、嚴然たる大芭蕉の藝術精神にも『童心』より出發し歸納するものとの一元的考察に從ふのである。即ち、彼等の藝術が變遷多き時代の蒼桑をへて萬古に鑑賞生命を持し燦然と輝くものある所以は、一つは不滅の『童心』より出發歸納したる藝術に因るあるを固く信ずるものである。

農村に於ける諸種の生活樣式が如何に新時代の科學的洗禮を享けて進歩を遂げ また農民の精神生活が如何に向上せられたとしても彼らが長久不變の大自然のうちに土を相手として生活してゆく以上はその根元に横はる原始的生活感情と共に一つに永久不變なる『童心』があるを又知るべきであらう。

この意味に於て、若しすぐれたる童謡詩に於ては良寛、芭蕉に於けるが如きにまで永遠性を附與さるべき生命を具象するであらう。もちろん、童謡詩それ自体と、作者の人格的効果によるのは言ふ迄もない。

四、農民主義童謡詩と時代精神

童謡詩はまた、變轉極りない時代精神（あるひは文化思潮）の動向にかけ離れて無關心であるべきではない。近代精神科學自然科學の發達に伴つて實に今日の文學も明白になる場合は古き感を致させしむる。

都市に於ける時代文化は直ちに農村のそれであり農民の自意識をさへ要求する新しき階級意識は眠れる農民の野獸的反抗意識を喚起するであらう。

階級もまた童謡詩に缺くべからざる內的意識であらうが。しかしこれは單に斯かる見解ばかりは容されぬであらう。なぜなら『童謡詩と永遠性』の項で既に論じたる如くに、農村の根底傳統的に横はる農民の民族的精神は、さう容易に新鮮さを欲して動き出す底のものではないからである。近來、特に著しく社會大衆の間に常識的現象をさへ及ぼせるマルクス主義文學はその取扱範圍を全農村にまで擴大した。

しかるに彼等マルクス主義文士詩人たちが主義主張を表示する作品の骨子所謂プロレタリヤ・イデオロギーを感ずることに據つて謂はゞ社會大衆への主意識効果を强調し、以て作品評價の鐵則となすその急なる爲めに作品の藝術性を喪失すること少くない。かつ又資本主義末期を飾る單に反動的な粗雜なる文學現象を爲すに至つてゐる。かつ又社會大衆（農民を含む）の動向を階級鬪爭意識のたゞ一色にのみ觀、作品に於ても一色に染めあげやうとする所に彼等の早計もおのづから存するであらう。藝術的本質上の蹉跌も來すのであらう、彼等の包括的な普遍的なる主張と視野に於て描き上げられた農民生活のしかも著しく歪められて再現されたる文學に農民自らの姿を見つけられた時、農民は反抗意識の喚起以外にそこに何等深く胸うつ藝術的至上なるものを發見し得ない かくてあらゆる事實は農村文藝の將來には童謡詩の如く、むしろ幼稚なる形式のしかも農民の自然觀の情緒を呼び醒ます領分を明かにたいてゐると言へるであらう。そこには深く階級意識に目ざめても破壞するに非ずして建設するものがなくてはならぬ。マルクス主義文學もそれを目指してゐるのではないか。

文學上にても特に農民の眞性を味到する農民文學に於てはその野趣的であると牧歌的であるとを問はず藝術的根元から發足すべきものである。かくて始めて正しく力强き明日を約束される文學が躍出され得るのであらう。また童謡詩の本質も又そこにあるのである。牧歌的と同時に『下手もの』の妙味を具備せよといふのも實にそこにあるのである

時代警語（桂月）

○君子は他の美を讃賞すれども羨まず、俗物は讃賞せずして羨む。羨むだけならば猶可也。羨みて我も斯くなりたしと奮發すれば更に可也、されど俗物は羨むより一轉して嫉む。もしくはわが境遇を恨みて自暴をも起すに至る……（わが非）

潮聲俳帳　九月例會第三十八回句筵

課題吟（其二）

二百十日の厄日

厄日とは思へぬ空の青さかな　長貴
二百十日雲の動きを仰ぎけり　北窓
風のなき二百十日の旭を拜む　欽一
臥た牛の幽迦非は晴れて厄日かな　萬袋
花稻に風立ちそめし厄日かな　率賓子
雲垂れて二百十日や只ならぬ　思村
厄日只少し寒きを惜しむのみ　二葉
事なきを祈る厄日の朝詣て　香雨
何事もなくて落着く厄日かな　芳月
風すらし二百十日の雨戸鳴る　竹羊
田の面のさはつく二百十日かな　武門
曇りながら雨ともならぬ厄日かな　年臺
早稻の穗のわつかにゆるゝ厄日かな　中納言
穩かに暮れたる二百十日かな　松堂
雲垂れてあやしき空の厄日かな　鶴歩
この厄日ことなく稻田賴もしき　晩霞
稻の風　二百十日の　音立てて　石城
稻の穗に　二百十日の　夕茜　素水
磐城はるかに二百十日の沖さやか　文仟

沾華微笑

國家安穩武運長久五穀豐穰家內安全。琴々と五日縣社で祈願祭

◇

安田中將の滿蒙問題大講演會。時節柄可聽可味

◇

パンに有り付けぬ四割四分、悲しい職紹の統計

◇

動き取れぬ地方經濟界を安定と見るは是か非か

◇

秋空にカーンと熱球憂飛ぶ愉快な明日曜

10月4日

△令律の問答私記を選定せしむ（天長三）△佛國歴史家ボゾー生る（一、七八七）△美術學校を東京に設置す（明治二〇）△クリスピー生る、伊太利建國に七元勳ありて曰くマヽエル王、カヴール、ガリバルジー、リカソリー、マッジルー、クリスピー是也。クリスピーは始終ガリバルヂーを援けて伊國の統一に大功を建てり、年八十三の高齢を以て逝く（一、八一九）

一日一禪

○

一曲兩曲無人會
雨過夜塘秋水深

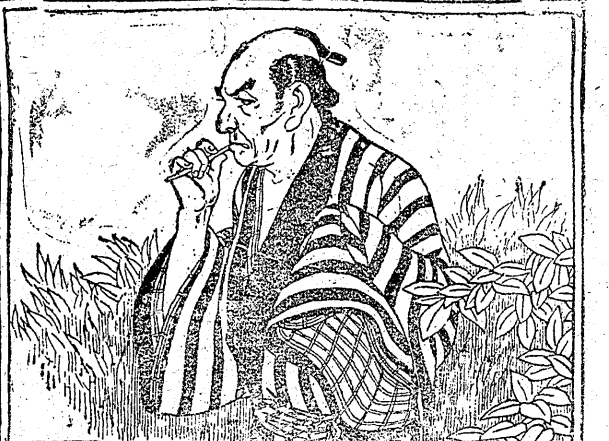
講談

侠艶 女長兵衛

東京 斯波南叟
（魚崎潮畫）

（三二）

喜助を奥の一間へ通して お蝶が 蝶『眞逆に今朝あたりは來はしまいと思つて居たのに、大層早く來たものだね、夫ぢやア、る間もあるまいに……』男姿になつて居ても、女は女だけに思ひ遣りが深い 喜『ヘエ、昨晩は誠に有難う存じました旦那樣がお情の大金、彼れを見せて後家樣親子に喜ばしてやらうと思ひましたところ、是々斯樣斯樣……』涙片手に其の出來事を物語りました、お蝶は是れを悉く聽いて 蝶『扨々世の中には不幸の人があれば在るものだ、實に氣の毒千萬な話し、殊に三河屋の熊五郎と云ふ奴、慈悲も情も知らぬのみか、今朝まで金を延期すると言つて置きながら、其の約束の時間も來ぬうちに娘を連れて行くとは法外の仕業だ、此上は其娘を取戻し、親の問ひ弔ひをさせてやるがお前の忠義、先は隨分の分らず屋だが、根が金から起つた事、金さへ返したらば異論はあるまいマア〱是れから行つて娘を連れて來るが好い、不思議な事から心安くなつた、此先も隨分相談相手になつて上げる、死んだものは夫迄の因縁、跡が大切だから』何處までも同情ある言葉 殊の口からそれとは明かしませぬが、喜助は元父主水の奉公人だから、餘計にも同情の出る譯、喜助は涙を拂つて 喜『旦那樣の樣な方が後楯になつて下されば、是からはお嬢樣も仕合せと云ふもの何分ともに願ひ申します』……最う好い時間と思ひますから、喜助は暇乞ひをして立出でまして、熊五郎の宅へと急ぐ……扨て其の頃ほひの三河島は、廣い田畑の中に人家がポツ〱で、此處からは盛んに菜が出る、菜が至つて好味をもつて居りました、江戶のものは菜と云はず、俗に三河島〱と申して夫れが菜だと判る、夫程高名な菜の名産地、畑で四面を圍んだ中にポッツリと人家がある、熊五郎の家はそれだ、熊五郎は今起きた許り楊じを啣えて庭先をブラ〱歩いてゐると、垣根越しに。喜『親方さんお早うございます』熊『誰だ、喜助か』と云つたが、一寸厭な顏をした。人間には良心がある惡い事は惡いと思ふし、好い事は好いと考へる、熊五郎昨夜は手荒な事をしてあるから、幾ら惡黨でも顏色を變へたのでございませう 喜『今朝ほど早く出ましたが……まだお休みでございましたから、外を廻つて來たのですが……』熊『何か用があるのか』喜『ハイお約束の金子を持つて參りました』熊『ナニ』○『今朝早くまでに丸八の死んだ旦那の借金十兩と、利息とを持つて參るお約束をしました漸く出きましたから持つて參りました』熊『出きたのか』喜『ヘエ、仰せの通り出きました』熊『然うか』熊五郎の量見では野郎ゆうべは一晩中、何處か駈けずり廻つて、まだ入谷へは歸らないな、娘お露を引上げて賣飛ばした事も知らず、金ができた嬉し紛れに此處へ飛付けたのだらう、是りやア甘い事ができた、先で知らぬのを幸ひに、其二十兩の金も此方へ卷くし上げてやらう……惡い奴は何處まで惡いか知れない 熊『迚もおまへの力で二十兩の大金は、できるものでねえと思つてゐたが一生懸命になつて大したものだ、サア上んな、八公喜助がまだ朝飯まへらしい、何か温いものでも振舞つてやれ』と急に態度が變つてきた、喜助が座敷へ案內されて通ると、熊五郎は手早くてうづを使つて出てくる 熊『大きに御苦勞だつたなア、喜助金を早く出しな』喜『へゑ金子は差上げるどころではありませんが、親方さんも證文をおだし下さいまし、證文と金子とは引替えにして頂き度いものですから』熊『然うとも〱』



ラヂオ

四日（日曜）……仙臺JOHK

△前九、〇〇A 氣象通報
△九、一〇A 榮養料理（アデのバタ燒）榮養研究所
△九、三〇（子供の時間）オーケストラと歌　慶應義塾ワグネルソサイエテイー　獨唱…河原喜久惠
△一〇、〇〇 修養講座（家庭的宗教）岡部宗城
△一一、〇〇A 講演（動物愛と人類愛）安部磯雄
△正午 A 時報　氣象通報　今日午後の番組豫告　告知事項
△〇、三〇A ニュース
△一、一〇　六、〇〇A 水上競技（第六回明治神宮体育大會水上競技大會…兼六年度大日本選手權競技大會狀況）
△三、四〇A 氣象通報
△三、五〇 經濟市況
△六、〇〇A（子供の時間）少年講演（天下無敵竹篦劍術）鶴見欣次郎
△六、三〇A ラヂオ講座（我が國際中繼放送の經路）遞信技師小野孝
△七、〇〇A ニュース　氣象通報　告知事項　生繭相場　番組豫告
△七、三〇 音曲ばなし（代り目）柳家つばめ
△八、〇〇A 聲色（吹き寄せ）柳亭春樂
△八、三〇A 富本（おしゆん、傳兵衛…花川戶助六身替りの段）富本豊前、豊園
△九、〇〇B 義太夫（戀女房染分手綱…三吉愁嘆の段）豊竹圓司
△九、四〇A 時報　氣象通報　番組豫告　生繭相場

上田外科醫院
院長 上田耕作
平町南町 電一二九

廣告

御菓子の御用命は（是非）
平田町
泉屋支店
藤田女學校隣
電五一〇呼出

平町新川端
難波醫院
電話 五〇二番

蜂ブドー酒

ともすれば
胃腸を害し易い秋です　必ず召上れ
毎食前　蜂の一杯を！　一杯よく胃
液の分泌を促して消化を助け　絶大
なる殺菌力と相俟つて　健胃　整腸
の効を遺憾なく發揮いたします
美味滋養……蜂ブドー酒！

近藤利兵衛商店

內科、小兒科
花柳病科
入院應需
藤沼醫院
平町紺屋町
電話平五〇七番

度量衡計量器
吸入用酸素
酸素吸入器
関內藥局

內臓外科
外科一般
花柳病科
入院隨意　自炊の便あり
平町田町赤心堂病院跡（電話四七五番）
安齊外科醫院
看護婦募集

お醬油は……ヤマフル
味噌醤油
たひら正宗
鰹節 食料品
鹽屋
山崎合名會社
福島縣平町
電話（營業部一〇番　本店二七番）

滿鮮現役軍人の爲に
武運長久家内安全祈願祭執行
愛國婦人會平委員區幹部が
町内關係の各戸を歴訪慰問

愛國婦人會平委員區に於ける滿鮮現役軍人の家族慰安計劃は昨報の通りであるが右は愈々明後五日午前十一時から縣社子鍬倉神社に於て田部神官により武運長久家內安全の祈願祭を執行し其の神符を彼地の左記各氏に郵送し尚ほ當該各戸を歴訪して同樣神符を贈る事に決定した。

久保町四一（獨守）大竹榮一、七軒町三九（朝野）田卷源市、久保町三三（七六）青木利雄、新川町三〇（朝野）中野喜平、長橋町三（同）大阿久三郎、（獨守）山崎安治、新川町二八（七六）丸山芳春、十五丁目（同）兒山石夫、田町（同）草野忠、堤ノ內（二九）深谷四三郎、梅香町（同）猪狩數三、柳町一一（滿野）井上榮市、正月町（二九）木村石三、南町（同）佐藤武

滿洲問題講演會
五日平第三小學校で
安田中將の獅子吼

福島聯隊區司令部主催に係る留守第二師團司令官安田郷助中將の滿蒙問題大講演會は既報の如く明後五日午後六時から平町第三小學校に於て開催するが平在郷軍人會では之の機會に於て特に乞ふて午後一時から四丁目マルトモビルに於て該問題に關する座談會を開催すると

三百六十五人中
二百五人（五割六分）が就職
既往三ヶ月間に於ける
平職業紹介所の取扱成績

平職業紹介所に於ける七八九三ヶ月間の紹介成績は求人數二百四十九人求職者數三百六十五人紹介交附者二百五人で内譯左の如し

	求職	就職
工鑛業	六一	一
土木建築	三五	一六〇
商業	四〇	三
農林業	二	二
通信運輸	二	四
戶內使用	三三	三
其他雜業	一九二	三二
合計	三六五	二〇五

右表の示す所に依れば不況時に於て二百五名の就職者を出した事は如何に同所が失業者救濟に骨を折つてゐるかゞ窺はれ極めて好成績である尙月別に示せば

	求人	求職	就職
七月	一〇二	一五三	八六
八月	六八	一〇二	六一
九月	七九	一一〇	五八
合計	二四九	三六五	二〇五

で去月中は八月中より求人十一人求職八人を前年同期よりは求人三十六人求職十九人の何れも增を見せてゐるがその割合に就職率の捗ないのは不況に殃された結果に外ならないと

あすの競技に出る
平第一校選手決定
英氣を養ふ小勇士顔ぶれ

明四日磐中校庭で行はれる第三區兒童競技大會に出場する平第一校の選手は左の如く決定した

（尋五）百米中島利夫、吉田伴四郎、四百米繼走吉田、綠川浩行、根本慶治、中島、バ球投吉田、矢野浩一、走幅跳綠川、岩崎久治郎

（尋六）百米井上朗、草苅健、八百米繼走井上、佐藤和男、秋山、草苅、走高跳井上、寺田、バ球投長瀨、江口成年、混成長瀨、草苅

（高一）百米齋藤武男、猪狩五郎、二百米佐藤咲藏、君島敏雄、八百米繼走君島、佐藤、猪狩、齋藤、三段跳猪狩、齋藤、バ球投五十嵐藤作、佐藤

（高二）百米山野邊利正木村安三、二百米齋藤昇吉田健一、八百米繼走齋藤、木村、山野邊、吉岡三段跳齋藤、石井源四郎走高跳後藤利男、平井鐵三郎、混成吉岡、木村

□□□□□□

磐中運動日設定

縣立磐城中學校では卒業生の保健狀態が餘り理想的で無いので先週から全校各學年の運動日を決めて職員及生徒全體の健康を增進せしむべくバスケットボール、バレーボール、フットボール其他の運動にいそしみつゝある

ダンス練習

平第二校では既報の如く來十三日午前八時から同校庭で運動會を開催するので目下兒童はダンス其他の遊戲を練習中であるが尙ほ來十七日の磐城高女十八回陸上運動會に於ける附近約十校の小學六年生の百米、四百リレーに參加し昨年同樣必勝すべく猛練習中である

○○○○○

第一校運動會

平第一小學校運動會は來る二十三日午前八時から同校々庭で擧行さる

大体安定に入る？
平局の統計から觀た
地方の金融狀態

平郵便局に於ける去月中の貯金及爲替取扱成績は貯金受入口數五、八八四金額一五四、九三三圓二〇錢、拂出口數一、八五八、金額一三三、二四〇圓一一錢で昨年の同月より受入口數一七口金額二二、五七二、八一錢、を減じてゐる反對に拂出は二一一口金額四、〇五九、三九錢を增加してゐるまた爲替は受入口數一、三〇三、金額二九、六四〇圓八一錢拂出一、六二〇、金額五六、四八一圓六四錢で昨年より受入口數四八を減じ金額四五八圓八三錢を增し拂出は五八を減じ金額は二四、〇六八圓二〇錢の增となつてゐるのは大口の取扱のあつたゝめで之れを通觀すれば金融狀態も大体之邊で落ち着いたものであらうと觀測されてゐる

音樂教授時間增加建議
磐城高女に開かれた
擔任者協議會で決定

此程磐城高等女學校內に開かれた縣下女子中等學校音樂科擔任者協議會では最近の思想傾向に鑑み中學校に於てすら音樂を科してゐる昨今女學校の音樂教授が現在の一週一時間では女子情操教育上甚だ不徹底だと云ふので時間數を增加すべく其筋に建議することに決議した

投稿
寄書歡迎

先生に感謝す

◇平第一小學校が一日からの寄生虫驅除デーに當つて全校生徒に虫下しの海人草を服用せしめた事は驅除デーの目的を達する上に於て將た又中々親達の言葉位では所謂口に苦い靈藥などを飮まうとしない一部の腕白兒に對する寔に機宜の方法として父兄の立場から感謝に堪えぬ處である

◇殊に事前に於て目下他の疾病により服藥中の事實無きや等を照會し而して一々保護者から服藥に對する賛否の意向を確めたその周到細緻な注意振りに至つては兒童の保護上平第一小學校近來の大出來として之亦學校當局に多大の敬意を拂ふものである

◇一部に頑迷な父兄ありとせば知らず、第一校今回の擧措に對して何人か信賴感謝の念を深めぬ父兄があるであらうか。物事は總て誠意の存否によつて一切を評價さるゝものである、將來萬事之の筆法で遣つて頂けるなら父兄の安心之に過ぐるものが無い（一父兄投）

小室工場長外二役員
瓦斯爆發の爲大火傷
今朝粘土乾燥機檢査中の椿事

四倉町磐城セメント工場長小室萬五郎氏は部下の役員吉田義明、西郡司、倉石宏の三名と共に今三日午前九時頃此程工費七萬圓を投じて同工場內に新設した粘土乾燥機の試運轉を檢査すべく之れを裝置せる建物のドアを明けた處が屋內に充滿してゐた瓦斯が爆發した爲前記四名共顏面に全治二、三週間の火傷を負ひ木村醫院の手當を受けてゐる

追突して奔馬を殺す
亂暴な轢逃げ自動車の
運轉手檢擧さる

昨二日午前七時五十分頃平窪村鯨岡九農鈴木朝五郎が平町堀ノ內九食肉業大塚武雄所有の牝馬に藁束を積み平町に向け鎌田町地內橋上に差蒐つた際何に驚いたか突如暴れ始めたゝめ之れを制止する一方後方から鮮魚を滿積して疾走して來たトラックに右手を擧げて停車の合圖をしたが該自動車は依然速力を緩めず遂に該奔馬價格六十圓に追突し斃死させた儘疾走行方を晦まし

蛔虫驅除デーに
全校生徒の檢便
蝕齒なし學級や虎眼絕滅
平第二校の保健施設

平第一、第三の兩校では今回蛔虫驅除デーを期して去る一、二の二日間に亘り全校生徒に海人草を服用せしめ兒童の健康に資する處あつたが第二校では更に服藥が兒童健康上果して何の位の良結果を得るか其間の實際成績を確むべく、清水校醫の特志により目下八學級五百人の全校兒童に對し各學年一學級づゝ順次糞便檢查を行ひ蛔虫・十二指腸虫其の他の寄生虫の有無を檢查中で右終了後服藥せしむる筈であると、尙同校では兒童虛弱者の調査に心を用ひ全然蝕齒の無い學級を作り順次全級に及ぼさんとして先づ第一に尋四三組生徒約七十五名の治療に着手し又トラホームも同樣尋二、四學級約二百五十名の持別檢查を行ひ治療中である、因に其の方面の校醫は眼科星齒科佐藤の兩氏である

水田所有者番附

横綱	（平町）	諸橋久太郎	（八八丁三九）
大關	（勿來）	大平睦四郎	（五一、四七）
關脇	（同）	小松彌次郎	（四〇、七〇）
小結	（同）	赤津庄兵衛	（三四、八五）
前頭	（內郷）	馬目太吉	（二六、五三）

行司　平米穀檢査所（同所最近作製）

横綱	（泉村）	江尻博孝	（八四、三九）
大關	（磐崎）	大平正次	（四〇、九八）
關脇	（川部）	兒玉萬平	（三七、九五）
小結	（勿來）	赤津修一	（二九、九〇）
前頭	（平町）	山崎與三郎	（二五、一四）

平町新風景

移動來々軒
冷い夜の街頭に見る
プロ的味覺求眞の王座

街頭人稀れに電光のみ燦として飽く迄深夜の靜謐を持してゐる時一種亡國的の哀調を帶びた支那蕎麥屋のチャルメラが街の一廓から突如泣くが如き音波を漂はして來る時そこには云ひ知れぬ寂しさの裡に而も味ふべき溫か味が含まれてるのが感ぜられるんです。

○

秋十月。露の薬芋、風の穗芒、藥水漸く齒に泌みて氷水屋が燒き芋屋に看板を塗り替る時リヤカーのアイスクリーム屋に代つて何十臺かある支那そばの屋臺車は夜の街頭に斷然プロ的味覺求眞の王座を占めるんです。

○

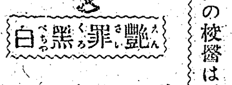
三分蕊の煤けたランプが極めて非現代的にとぼつてゐる下にフレッシな匂ひを漂はせ乍らチョキ〱と葱を刻む音。湯氣白く立ち昇るトタンの釜をゴトン〱搔き廻すあの音こそは、スパーク後のひもじさを抱えてチャルメラに吸ひ寄せられた南町歸りの若い衆のみに與へられた樂しい天地なんです。

○

だから南町へ進擊する彼等の豫算は大体恁麼ふうになつてるんです。七錢バット一個代（南町の本通りからドブつ端を一と通り素見かすに用ふるもの）十錢支那蕎麥一つ代、それに最大の經常費一圓合計一圓十七錢也で五十錢玉三つも持つて出掛けると取り敢へず一本の煙突を立てゝプレートに立つ前の英氣を養ふ事も出來れば用心のコンドーム代位は浮かせると云ふもんです

○

斯くして我が愛すべき移動來々軒君の華客は先づ南町往來の勇士の面々を第一とし次ぎが活動歸りの紳士淑女（？）諸君なんです。夜漸く闌けて前者の客足がポツ〱ついた處へ常設館からハネの樂隊が聞こえて來ると許り臍下丹田に力を凝め嚠喨とチャルメラを吹き了つてラッシュアワーの手筈を決める來々軒君なんです。寢るのが曉方近くで翌日日出て三竿尙ほ夜中の來々軒なんです



艶罪黑白

◇飛行機熱は今や新田町の妲さん間に迄波及し髮結ひさんでも梅の湯でも寄ると障るとその話しで持ち切り◇時節柄殊勝な事だとダン〱きいて見ると何のこつた『罪が無いんで！』は弱織が質屋へ行つてる事『機体に故障』は病院通ひ◇そこらはマア大して罪が無いとして『昨夜空中給油を受けた』は通りがかりの馴染から小遣ひ錢を搾つた事。ナンカは罪深い！。

入山炭鑛島岡社長
六日來山視察

入山採炭株式會社長島岡亮太郎氏は理事太田文雄氏と共に來六日來山數日間滯在の上山元の操業狀態を視察すると

○○○○○

第三校童話會

平第三校では來七日と二十三日

健康相談日
磐女の
今後繼行に決定

磐城高女では七月以來每月第三土曜日を健康相談日と定め當日は賀澤校醫により全校生徒の健康狀態を診察し虛弱者には夫々注意を與へた所成績良好なので今後繼續して行ふと

平町人口動態

平町に於ける去月中の人口動態は左記の通りである

出生六六、死亡三五、婚姻二三、離婚三

兵事主任會

平署管內兵事主任會は二十二、三兩日午前八時から同署會議室で開催動員實施業務書の改訂に關する件を主とし其他質疑等であると

町村長會評議員會
選擧問題其他附議

縣町村長會石城郡支會評議員會は明五日午後一時より平町役場會議室に於て開催縣會議員選擧の實際問題に當面した各種事項の打合其他を附議すると

龍生會發會

平町華道教授正木旭松女史門弟一同と共に石城郡龍生會と稱する團体を組織し近く發會式を擧行するが同會は相互間の親睦裡に立華生

四倉繭市況

四倉繭市場昨二日の取引左の如く目下晚秋繭の出廻最盛期のため取引貫數の增加を見せてゐる

總貫數一千二貫、最高二圓九十三錢、最低二圓五十八錢、買馴二圓七十四錢

□□□□□

屑繭講習終了

川前、永戶兩村の玉屑繭整理講習會修得證書授與式は何れも今三日午後一時から同村小學校で行つた

奉行先の
件を案じて
母親病氣となる
雇主へ說諭願

好間村下好間三反田渡邊國安は長男義正（一七）を徵兵檢查迄の約束で昨年五月中栃木縣足利町昌平町一七織物業岡村千代三郎方へ奉公させたが義正は奉公が辛いから歸り度いと再三親許宛に手紙を寄こすので國安は一先づ歸宅さすべく雇ひ主に掛け合つたが言を左右に托して應ぜぬため之を苦に病んだ實母ケサヨは最近極度の神經衰弱に陷つて困つてゐるので國安は今三日平署を通じて先方への說諭方を願ひ出た

○○○○○○

製作品展と音樂會

磐女では來月廿二日午前九時より裁縫、圖畫、習字其の他の成作品展覽會を催し同正午より音樂會を催すと

○○○○○○

傳染病發生

湯本町湯本上町五八相田マサ（二二）はジフテリア好間村下好間二二叶多サダ（四）は疫痢と判明二日何れも隔離された

平町人事

△出生
長橋町二三湯本町辰ノ口
入山炭礦社宅大谷要吉次男健

▲死亡
紺屋町一湯本町關船上關
一二〇佐々木キワ（三）

池坊龍生派
石城郡華道龍生會本會創立

平町華道教授正木旭松女史ガ最モ熱心ナル門弟一同ト一致協力シ斯道發展ノ爲メ石城郡龍生會ト稱スル一團体ヲ創設シ近日發會式ヲ擧行ス

相互ノ親睦ト意志ノ交換ヲ目的トシテ細心精密ニ立華生花ヲ研究可致ニ付多數御希望者ノ御入會ヲ歡迎ス

仲秋清涼の候彌々御清適奉南賀候陳者過般の縣會議員選擧に際し愚弟井上茂作が最高點を以て當選の榮を贏ち得たるは偏に各位の深甚なる御援助の賜に外ならず衷心感佩罷在候今後駑鈍に鞭ち縣政の爲め專心盡瘁する樣可爲致候間一層の御推挽を相仰ぎ度御禮旁々御願申上候
早々敬具

昭和六年十月
東京麴町區飯田町
中野浩忠

各位

內科、小兒科　市原卯太郎
外科一般、婦人科　市原陸郎
外科、梅毒、淋疾
皮膚病　市原三三男

平町田町本通
市原醫院
（入院隨意）
電話一二四番